

埼玉縣令白根多助

上内務大藏兩卿書

3917





愚多助伏シテ言フ地租改正ハ至重至大ニシテ

國家ノ休戚人心安危ノ係ル所ナレハ其措置ニ  
於ケル最慎ミヲ加ヘサル可ラス政府ハ明治八  
年更ニ改租ノ令ヲ下シ成業ヲ期スルニ翌九年  
ヲ以テセリ當時愚以為ラク府縣ノ多キ事業ノ  
難キ支吾遷延一時奏功甚艱シ故ニ政府豫此令  
アル所以ナリト既ニシテ各地方其緒ニ就ク者  
僅ニ數縣ニ出テス他皆期ヲ過キテ業ヲ卒ラス  
然リト雖其遷延決シテ地方官ノ簡慢ニ非ス事  
ノ重大多少ノ困難アリテ然ルナリ愚カ管内ノ  
如キモ客年始メテ其事ヲ卒フルコトヲ得タリ  
初メ新租ノ未定マラサルヤ姑ク前年ノ貢額ニ

天正十一年四月  
天正十一年四月

寄  
系

照ラシ之ヲ徵收スト雖九年ノ如キハ米價殊ニ  
賤クシテ前年金額ノ七分ニ過キス十年ニ至リ  
テモ亦然リ故ニ今之ヲ改正新租ノ額ニ準スレ  
ハ其不足スル者二年ニシテ一百五萬圓ノ多キ  
ニ上レリ是政府ノ認メテ以テ未輸ノ貢租トス  
ル所ナリ既ニ認メテ未輸トセハ人民ニ追徴シ  
以テ國庫ニ納メサル可ラス然リト雖九年ニ沂  
リテ之ヲ追徴スルノ難キハ猶地租ヲ改正スル  
ヨリモ易カラサル者アリ請フ兩卿ニ向フテ其  
故ヲ陳セン夫レ政府ハ九年ヲ以テ改租ノ期ト  
スルモ愚カ管内ノ如キハ十一年十一月ヲ以テ  
始メテ能ク整頓ノ功ヲ奏ス是ヲ以テ向キノ未  
輸ノ金タルハ部民ノ曾テ公認セサル所ナリ其

曾テ公認セサル者ヲ以テ之ヲ今日ニ追徴スル  
ハ所謂令ヲ慢ニシ期ヲ致ムル者ニシテ恐ラク  
ハ民ヲ子トスルノ道ニ非サルハ是其追徴シ  
難キノ一也且此事外面ヨリ之ヲ見レハ咄嗟辨  
スヘキ者ノ如シ而シテ其實ノ難キ歲月ノ能ク  
了スヘキ所ニ非ス假リニ部民ヲシテ能ク其令  
ヲ奉セシメンカ則九年以降ノ民費モ示之ニ沂  
リテ精査出入セサル可ラス試ニ思フ管内ノ地  
券凡三百萬筆ニ下ラス故ニ計者數千珠盤萬顆  
夜以テ日ニ繼クモ整頓ノ功未觀ル可ラス其間  
煩勞濫費皆以テ民ヲ擾スニ至ルハ是其追徴  
シ難キノ二也今追徴ノ金額槩シテ一百五萬圓  
トス是一管内ノ總額ナリ之ヲ一村一部ニ分チ

テ其増スモノヲ賦課スレハ少キハ一厘錢ニ滿  
タサルモ多キハ三十八倍ニ上ルモノアリ令之  
ヲ三百萬筆ノ地券ニ照ラシテ之ヲ出入セント  
欲ス其至難何ソ彼民費ヲ精算スルニ異ラシ  
ニ異ラサルノミナラス已ニ増額ニ等差アレハ  
追徴モ亦緩急ナキコト能ハサルハ顯然ナリ令  
假リニ延納規則ニ準據シテ之ヲ徵収センカ近  
キ者五年遠キ者三百八十年ニシテ初メテ完納  
スルコトヲ得ヘシ其曠年ニシテ齊カラサル此  
ノ如シ其間或ハ水旱風蝗ノ害アラハ常額ノ貢  
租スラ猶且延納ヲ請ハサルヲ得サルコトヲ保  
ツ可ラス何ソ況ヤ意料外ノ増額ヲヤ其困難辛  
楚ナル實ニ名状ス可ラサル者アルニ至ラン是

其追徴シ難キノ三也今總額ヲ平均シテ試ニ之  
ヲ管下ノ十八萬戸ニ課スレハ一戸ニシテ殆六  
圓ニ當ルナリ愚竊ニ民間ノ説ヲ聞クニ既ニ舊  
税ヲ以テ輕シトセサル者アリ今又之ニ新租ノ  
増ス者大約三十萬圓ノ重キヲ荷ハシム民亦窮  
セスト謂フ可ラス又附益スルニ一百五萬圓ノ  
追徴ヲ以テス若シ強迫シテ之ヲ督促セハ遂ニ  
部落凋弊シテ烟突蕭條ヲラサルヲ保チ難シ方  
今民至仁ニ浴シテ他ノ疾苦ナク家戸日ニ増シ  
月ニ殖セリ一朝増租ノ故ヲ以テ之ヲシテ凋弊  
シテ蕭條タルニ至ラシム愚竊ニ恐ラクハ先王  
高臺望烟ノ御製ニ慙ルコトナキヲ得ンヤ察セ  
サル可シヤ是其追徴シ難キノ四也夫レ追徴ヲ

以テ之ヲ民戸ニ例スレハ既ニ已ニ此ノ如シ一  
轉シテ之ヲ人口ニ試賦センカ管下民籍凡九十  
萬餘人アリテ鰥寡孤獨老幼廢疾ヲ除ケハ其生  
業ヲ營スル男女五十萬人ニ滿タサルヘシ此五  
十萬人ヲ以テ彼一百五萬圓ヲ除スレハ一人ニ  
シテ二圓有餘ニ當ルナリ夫レ人々ヲシテ皆富  
者ナラシムレハ可ナリ到底富者寡クシテ貧民  
多キハ世ノ通患ナリ是ヲ以テ編戸ノ氓ニ至リ  
テハ終歲力作シテ囊ニ一錢ヲ餘サ、ル者アリ  
況ヤ二圓金ノ多キニ於テヲヤ然ルヲ是ニ責ム  
ルニ必納ヲ以テス民ノ恒心ナキ豈謗讟怨恨ナ  
キコトヲ保タンヤ其弊ノ極マリ壯者ハ起チテ  
盜賊ト爲リ老者ハ轉シテ溝壑ニ填ムルモ亦未

知ル可ラス萬一此ノ如クナレハ今日無前ノ盛  
徳ヲ累ハス細故ニ非サルナリ是其追徴シ難キ  
ノ五也夫レ追徴ノ難キ既ニ是ノ如シ設シ必之  
ヲ追徴セントセハ遂ニ地ニ課セサルヲ得ス則  
反覆シテ之ヲ推考スルニ其連及ノ廣キ獨現時  
ノ田祿所有主ニ止マラス何トナレハ田ノ定主  
ナキヤ九年以來轉輾賣買幾變遷スルヲ知ラス  
當時田宅ヲ賣買スル者焉ソ能ク他日追徴ノ負  
債タルコトヲ知ラン當時若シ其負債タルコト  
ヲ知ラシメハ其賣買スル者必雙方中ニ其債ヲ  
負擔スルノ契約ナカル可ラス苟契約ナケレハ  
人誰カ其債タルコトヲ認メンヤ嗚呼其認メサ  
ルノ債ヲ舉テ以テ遽ニ之ヲ無契約者ニ課セハ

是民ヲ掩フテ之ヲ罔スルナリ今姑ク其掩ト罔  
トヲ問ハスシテ民ヲシテ之ヲ出サシムルモ惟  
フニ民各心アリ買者ハ之ヲ賣者ニ譲リ賣者ハ  
之ヲ買者ニ推サントス之ヲ推シ之ヲ譲リ遂ニ  
甲ニ乙ニ丙ニ丁ニ連リテ紛々ノ極マリ之ヲ愚  
ニ訴フルアルニ至ラン愚將何ヲ以テカ之ヲ裁  
セン愚之ヲ裁セサルニ非ス法理ノ裁スヘキナ  
ケレハナリ是其追徴シ難キノ六也且帝ニ是ノ  
ミナラン管下未查ノ山林原野モ亦耕宅地ノ例  
ニ準スレハ新租ノ増ス可キハ異日ヲ待タスシ  
テ昭焉タリ然ル時ハ徴収固ヨリ九年ニ沂ラサ  
ル可ラス加之令ヨリ改租ノ歲月ヲ乘スレハ益  
多キヲ加フヘシ嗚呼耕宅地ノ加租既ニ已ニ彼

カ如クニシテ山林原野ノ税又多キヲ加フ是已  
ムコトヲ得サルニ似タリト雖獨我カ民ヲ奈何  
センヤ夫レ民ノ所有ハ限リアリテ官ノ徴スル  
所限リナシ限リアルノ有ヲ以テ限リナキノ求  
メニ應セハ假令銀行ノ富アルモ遂ニ盡クルニ  
歸セン況ヤ編戸ノ細民ニ於テヲヤ是其追徴シ  
難キノ七也且夫レ管内廣大地多ク民少シ是ヲ  
以テ地主皆躬耕スルコト能ハス往々人ニ貸シ  
テ雇作セシム故ニ雇作人ノ多キ其地主ニ幾倍  
ナルヲ知ラス而シテ之ヲ追徴セントスル勢雇  
作人ニ波及セサルコトヲ得ス然ルニ佃戸ノ現  
況四時耘耨シテ辛苦ノ粒々皆他人ノ手ニ落チ  
テ自家ノ餘蓄ニ至リテハ儻石モ示アルコトナ

シ追徴ノ責地主ニ在リト雖佃戸亦幾多ノ弊ヲ  
受ケサルヲ得ス是小民ノ衣食ヲ奪フテ凍餓ニ  
至ラシムル者ニ非スヤ古ヨリ聖王ノ民ヲ治ム  
ルヤ一夫モ其所ヲ獲サル者アラシコトヲ恐ル  
令ヤ地主ヲシテ鞭撻シテ之ヲ催促セシムルハ  
安ソ其能ク民ノ父母タルニ在ラシヤ是其追徴  
シ難キノ八也九斯ハノ者ハ愚ヲ以テ之ヲ案ス  
レハ決シテ部民ノ堪フル所ニ非サルナリ部民  
ノ堪ハサル所ヲ知リテ之ヲ施サントスレハ終  
ニ其事ヲ完クスルコト能ハサルヲ恐ル其施シ  
テ效ナカラシヨリハ寧施サ、ルノ愈レルニ如  
カス古ヨリ循吏ノ為ス所多クハ跡ナキヲ貴フ  
故ニ赫々ノ功藉々ノ譽ナシト雖其事業ノ却回

スルヲ見ス是尤治民ノ官ニ貴フ所ナリ顧フニ  
兩卿ノ賢ナル豈之ヲ知ラサルコトアラシヤ愚  
又兩卿ノ為ソニ一言スハキ者アリ何ソヤ愚ノ  
鄙見ヲ以テスレハ向キニ政府ノ九年ヲ期シテ  
改租ヲ促シタルハ其事業ノ成功ヲ期スル所以  
ニシテ追徴ノ伏案ニハ在ラサルハシ此時ニ當  
リテ愚宜ク改租以前ノ貢額ハ皆舊法ニ仍ルヲ  
申請スヘキコトナルニ然ラサリシハ其罪ナシ  
トセス然レトモ他ノ地方官モ亦是事アルヲ聞  
カサルナリ近頃聞ク地方或ハ追徴ノ令ヲ聞キ  
所謂未輸ノ金額ヲ舉テ以テ民ノ逋債ト做シタ  
ルアリト豈亦誤リナラスヤ何トナレハ是政府  
ト地方官トノ認約ニ出テ、其實ハ部民ノ與リ

知ラサル所ナレハナリ果シテ此説ヲシテ信ナ  
ラシメハ認約ノ責ハ地方官ニ止マリテ追徴ノ  
責ハ部民ニ在ラサルナリ今ヤ部民ヲ保タント  
欲スレハ政府ノ督責ヲ辞ス可ラス命令ヲ奉セ  
ント欲スレハ部民ノ悲慘ヲ免カル、コト能ハ  
ス督責ニ悲慘ニ皆愚一身ニ集マル愚憂惶シテ  
措ク所ヲ知ラサルナリ伏シテ惟ミレハ政府至  
仁ヲ以テ天下ヲ治ム且両卿朝野ノ名望ヲ負ヒ  
テ共ニ官省ノ顯要ニ居リ君ヲ致シ世ヲ經スル  
ヲ以テ已カ任トナシ克ク明ニ克ク斷シ善ニ從  
フ流ル、カ如シ是愚ノ呶々焉トシテ説ヲ進ム  
ル所以ナリ敢テ民艱ヲ粉飾シ條理ヲ揣摩シテ  
以テ両卿ヲ紛擾スルニ非ス其微意タル上ハ以

テ政府ノ德化ヲ宣シ中ハ以テ縣令ノ職務ヲ盡  
クシ下ハ以テ部民ノ安堵ヲ得ント欲スルニ在  
リ惟両卿擇ヒテ之ヲ采リ之ヲ裁セヨ微衷ノ激  
スル所言ノ忌諱ニ觸ル、コトヲ覺ハス愚待罪  
屏營ノ至リニ堪ヘス再拜上言

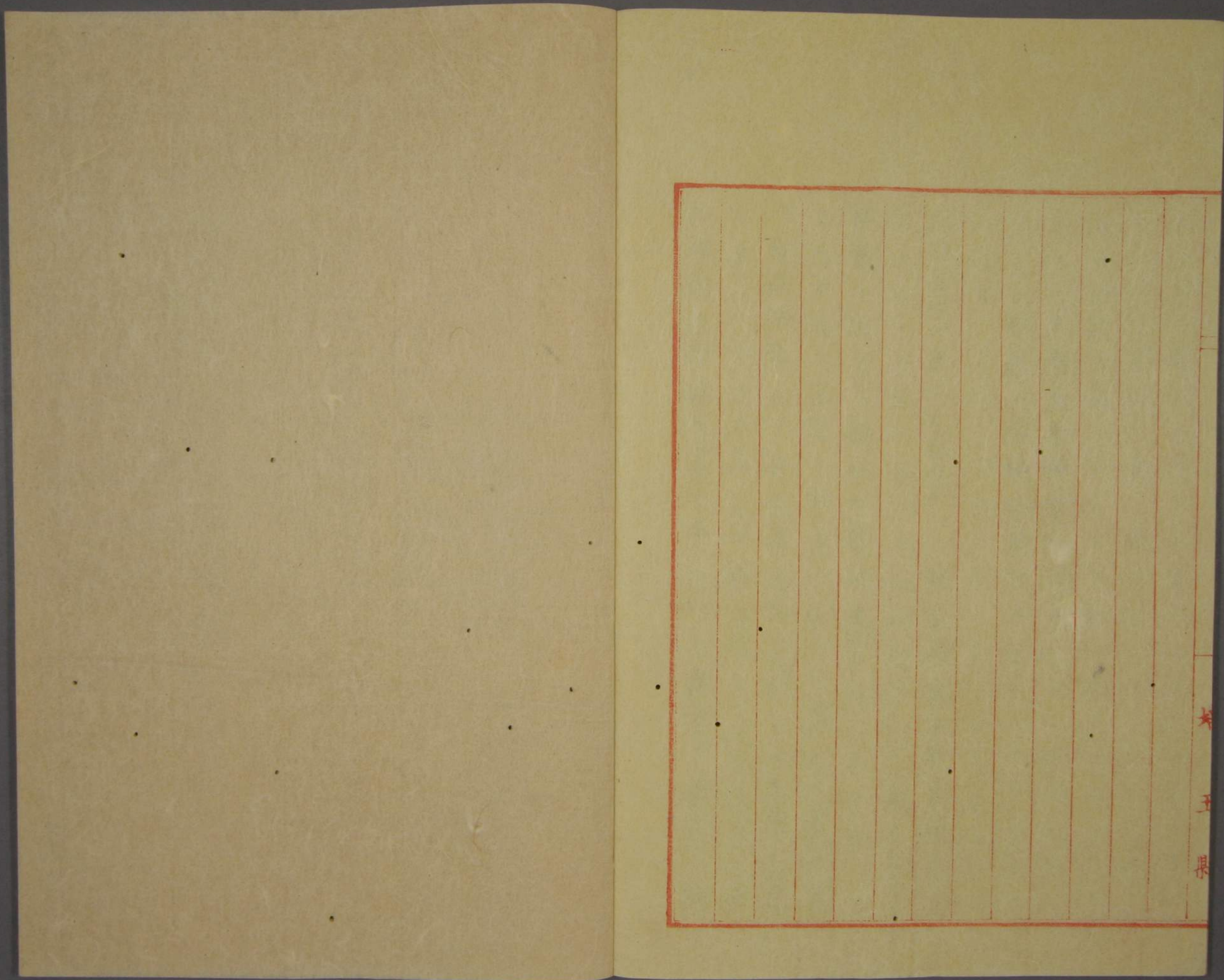
明治十二年一月廿二日

埼玉縣令白根多助



伊藤内務卿閣下  
大隈大藏卿閣下





★  
五  
景

